

組み立てを考えて物語を書こう

めあて

「三年とうげ」 李リ 錦玉クムオキ 作

「三年とうげ」と同じような組み立ての物語があるか調べよう。

		もも太郎	三年とうげ
④ ③ ② ①	④ ③ ② ①	④ ③ ② ① もも太郎とよばれる男の子が生まれる。 おにがあげられ、村人をこまらせる。 きじとさると犬を仲間にして、おにたいじに向かう。 おにをたいじして、幸せにくらす。	④ ③ ② ① 三年とうげのしようかいと言ひ伝えがあつた。 おじいさんがとうげで転び、心配で病気になる。 トルトリは、おじいさんにとうげで何度も転ぶようにすめる。 トルトリの言うことを実行して、おじいさんは元気になる。

児童が調べた物語の組み立てを必要に応じて板書する。

【6/12 時間目 指導略案】 使用するワークシート⑥

活動のねらい

物語が「三年とうげ」と同じような組み立てで書かれていることをとらえることができるようにする。

1 学習計画表から本時のめあてを確認する。

○ 学習計画表を基に、「三年とうげ」の他にも同じような物語がないか、思い出したり、探したりして、調べたことを発表することを確認する。

2 「桃太郎」の組み立てを全体で話し合つて考える。

① 学習活動の見直しをもつために、みんなが知っている物語を取り上げ、全体で話し合いながら、組み立てを考える。

【発問】昔話「桃太郎」が、どのように組み立てられているか考えてみよう。

- ・ 桃太郎と呼ばれる男の子が生まれる。
- ・ 鬼が暴れ、村人を困らせる。
- ・ きじとさると犬を仲間に加え、鬼退治に向かう。
- ・ 鬼を退治して、幸せに暮らす。

○ 一つの物語の組み立てを一緒に考えながらワークシートに書いていくことで、自分がこれまでに読んだ他の物語に似たところがないか思い出させたり、四つの構成がとらえやすいことに気付かせたりする。

3 調べた物語の組み立てを紹介する。

① 調べた物語の組み立てを発表する。
○ 作者は、出来事（事件）が解決するように書いていることをおさえる。

評価 物語が「三年とうげ」と同じような組み立てで書かれていることをとらえている。

4 本時を振り返り、次時について知る。

○ 次時は、自分の物語のあらすじマップを書いていくことを確認する。